

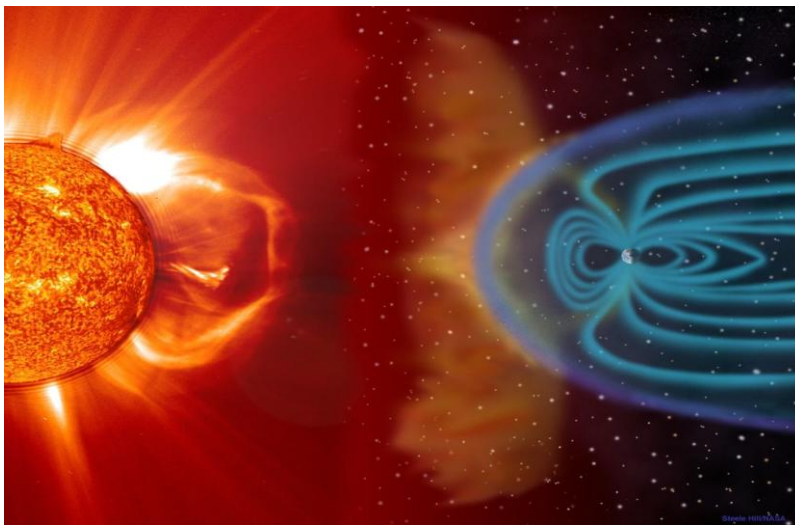
昔、書生たちが歌ったでかんしょ節「同じやるなら、でかいことなされ、よいよい……」(若い人にはこの歌は通じませんが)の内容は遥かに通り越してしまいました。しかし、地球改変に自由に至るような仕事もしなければ成らないのです。

- 1-3 東日本大震災、更に原発事故で今の日本はすこし傷ついています。日本は地球の割れ目の上にあるのです。このような災害は何年か置きに必ず来るのです。高々この文明社会の200年ぐらいには経験しなかったというだけです。今は、例えば、「いそいで活性断層の不活性化の技術も必要」というべきです。それに何を血迷ったか、**原発 zero** で選挙に出た莫迦な元首相が居ます。この地球を改善して太陽嵐にも耐え、地球の温暖化(?)にも耐え、雪球地球の時代にも耐え、全地球が木っ端微塵に壊れるまで地球船を安穩に運転していきたいものです。

雪球地球：川上紳一 「全地球凍結」(集英社新書) (2003)

*地球の温暖化：澤 昭裕 「エコ亡国論」(慎重新書) (2010)

*太陽嵐：GIGASINE 2010年6月8日 オーロラが悪魔の旗印になる
のでしょうか？



- 1-4 このような地球の改善・制御をするためには大きなエネルギーが必要なのです。太陽のエネルギーだけにはたよってはいけないのです。事故を起こさないような工夫は当然すべきですが、起こったときにそれを修復する技術も必要です。
- 1-5 かつて、硫安亡国論がありました。私は昭和24年に大阪大学理学部化学科に入学しましたが、その発端から、槌田龍太郎教授から硫安亡国論をはじめとして、原発不要論、未来人の財産冗費論 など多くの情熱あふれる講義を聴き、それらは、今でも深く心に残っています。それから60年もたっています。日本では水田の所

為で荒地は出来なかった様ですが、アメリカでは農薬砂漠が出来つつあります。原発事故は現在の問題です。このような予言は「だから私が言った通りじゃないの」と言われても何の役にも立ちません。解決策をしめせる跡継ぎ弟子がいれば、有益だったのですが、今残っているのは「攘夷の志士」ならぬ、道路上で反原発を叫ぶ感情てきな攘（原発）の志士たちだけです。

* 槌田タカシ「地球をこわさない生き方の本」(岩波ジュニア新書)(1998)(25刷)

1-6 沈黙の春—DDT 汚染・環境ホルモン警告の時代がありました。

DDT 散布の所為で損なわれた自然は、まだ戻ってきませんが、改めて DDT を使用しようと言う試みも始まっています。

1-7 この数年、京都大学をはじめ幾つかの大学に地球工学科なるものが現れ始めました(ほかの国にはないようですが・・・)。内容はいずれもお粗末です。

1-8 放射能汚染は上記の物質汚染とはまったく異なるレベルのものですが、どう除去するのか、早く技術を蓄積すべきです。先日、テレビで、廃炉を手がける方が、単一例の研究のようなものだとの発言をしていましたが、テーラー・メードであっても単一ではありません。チェルノブイリもありますし、ロシア、中国、フランス、アメリカ、イギリスなどを巻き込んで、原子爆弾。原発事故を含めた迅速処理の保障会社をつくるべきです。

セシウムの除去は、粘土に吸着したセシウムの除去と言う様相を呈してきたように思われます。動物に取り込まれたセシウム吸着粒子がどのような挙動をするのか、考えざるをえない時代です。

* 石井慶造(東北大学)原子力委員会定例会議 (平3/9/8)

「水洗浄による放射性セシウム汚染土壌の除染方法」

(なんとまあ、しょぼくれた研究なのでしょうか?)

* 放射能の灰も、有る意味では都市鉱山と同じく宝の山です。

1-9 このような大掛かりな技術(素早く、しかも、安価に仕上げる技術)は地味な様ですが、国を守ると言う点から見ても重要です。自衛隊にとっても大きな戦力であるはず。昔の軍隊のようにスコップを持ったり、鉄砲を持って走る訓練より(いや、これはこれで必要な戦力でしようが)遥かに有効な戦力です。

* 現在は戦中、戦後のものの無い時代を知らず、バブル時代を生き残った人の時代ですから、多分、経済的な常識がずれているように思います。

2) 第42回 定例会の報告

2-1 出席者： 14名(会員11名) 送付先確認メール： 520

2-2 出席者のすべての自己紹介の後、小林さんの講演に移りました。

小林さんの話が面白かったということで盛り上がり、更にこの雰囲気は懇談会に

も移行し、結構、和やかな楽しい時間となりました。 会合終了後に小林さんと更に2次会をやった人も居るようです。

2-3 資料の作成が間に合いませんでした。現在、作成中です。



国際楽譜ライブラリープロジェクト
(International Music Score Library Project, IMSLP)
からみる楽譜のデータベース

** ** ** **
** ** ** **

3) 社員総会開催のおしらせ 緊急告知・・・重要

特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会 第7回社員総会開催ご通知

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会第6回社員総会

を下記の通り行いたくご通知申し上げます。

お手数ながら下記「出欠表および委任状」に所定事項を下記に従ってご記入ください

1. 返信をクリックする
2. 出欠表のどちらかの後をクリックする
3. Yes を記入する
4. 欠席の方は委任状の欄に日付、氏名、住所を記入してください
5. 送信してください。

平成25年1月22日までに到着するようメールにて返信いただきたくお願い申し上げます。

I. 第7回特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会社員総会議事

- 1 開催日時 2013年1月25日(金) 午後1時～2時
- 2 開催場所 渋谷区宇田川町12-3 八雲クラブ (ニュー渋谷コーポラス
10階 - 1001号)
連絡先 090-4957-7722 (荒尾携帯)

II 審議事項

- ・下記議案の件

議案1：2012年度事業報告および2012年度収支計算書報告

議案2：2013年度事業計画案および2013年度収支予算案

III. 出欠表および委任状

出欠表

ご出席

ご欠席

どちらかにYesをつけてください。

欠席の方は下記委任状のご記入をお願いいたします

委任状

私は第7回社員総会のすべての権限を特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会理事長に委任いたします。

年月日：平成 年 月 日

ご住所：

ご氏名：

特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会

理事長 奥山 典生

事務代行 荒尾進介

** ** * * * * *
** ** * * * * *

4) 第 43 回定例会のお知らせ

バイオテクノロジー標準化支援協会 第 43 回 定例会

日時 2013 年 1 月 25 日(金) 午後 2 時 00 分—4 時 00 分

参加費：無料

* (定例会は会員でも会員でなくても自由に出席して、自由に発言も出来ます。)
友人同士誘い合わせてご出席ください。出席するのが面倒な方はメールでご意見をお寄せください。

場所 八雲クラブ (ニュー渋谷コーポラス 10 階・1001 号) (首都大学東京同窓会)

住所： 渋谷区宇田川町 12-3

電話番号： 03-3770-2214

(地図は SABS NPO) ホーム・ページ にあります。)

話題

2013 年の活動方針

毎年のように活動計画（Action Plan）を作りますが満足に出来たことはありません。其れでもこの協会が出来てからいろいろの活動もしてきましたし、幾つかの計画も実現できてきています。まあまあ予定通りといってもよさそうです。

- ① 今年は Iso/Tc でバイオテクノロジーが設立され活動が始まるようです。どの団体が日本の事務局を引き受けるのか判りませんが、この協会もそれにしたがって活動を広げる必要があります。
- ② 名称の変更：バイオテクノロジー標準化機構とでも・・・
- ③ 経済的な基盤を大きくする必要がありますが、
 - ㊶一つには維持団体の会員を増やすことです。
 - ㊷もう一つは、CD 出版で稼ぐことですが、眠っている著作権を寄付していただくことです。
- ④ バイオテクノロジー標準化のための講習会が出来ないか
- ⑤ 5カ年計画は作れないでしょうか？

5) ホームページに [e-library](#) のリストがあります。 会員の方はその中から希望のものをご指摘ください。